

# 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、  
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

**2K4K8K**



## 信号発生器 SG1WS

テレビの伝送設備を診断するための  
信号発生器です。

(BS右旋、110度CS右旋、BS左旋、)  
(110度CS左旋の伝送路信号送出。)

本製品は、BS・110度CS 4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。[4K・8K放送の伝送路信号を送出します。]

### ■付属品

- microSDカード(出荷時本体に挿入済) ..... 1個
- ストラップ ..... 1式
- アルカリ単3乾電池(動作確認用) ..... 4本
- 取扱説明書(保証書付) ..... 1部
- シリコンラバーケース(出荷時本体に取付済) ..... 1個



### ■製品の特長

- 衛星放送の任意のチャンネルに合わせて信号を送出**  
BS・110度 CS 右旋／左旋両偏波の伝送路の信号を任意チャンネルで選択することができます。
- 出力レベルを1dBステップで設定可能**  
受信システムの規模に合わせて、出力レベルを50～100dB $\mu$ Vの間で可変できます。(1dBステップ)
- ブースターのコンバーター電源等の外部電源で動作**  
外部電源からの給電により動作可能ですので電池寿命を気にせず、連続使用ができます。

### ● チャンネルステップ機能(SWEEP)で全チャンネルを自動測定

選択されたモードの全チャンネルを自動で切り換えて出力します。別売のレベルチェック(LC60WS)と連動して測定することができます。

### ● バックライト機能付

バックライト機能付きなので暗い場所でも画面がよく見えます。

### ● 信号レベルやシステム上の減衰量を同時測定可能

別売のレベルチェック(LC60WS)を使うと受信レベルに加え、システムの伝送レベルも同時に表示できます。

### 安全上のご注意

### ご使用の前に

### 各部の名称と機能

### 初期設定

### 使用例

### 操作方法

### 設定の呼び出し/保存

### 機能設定変更方法

### 故障かなと思ったら

### 仕様

# 安全上のご注意

## ■安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただることを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの		<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの
	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止
	指示を守る		機器の分解禁止		一般的な禁止事項

### 電池は正しく扱う

破裂、破損、液漏れ、発熱による火災や感電の原因となりますので、次の事項を必ずお守りください。



- 電池を傷つけたり、分解したりしない。
- 電池を火中に投げ入れない。
- 電池の+極と-極をショートさせない。
- アルカリ単3乾電池やニッケル水素電池以外は使用しない。
- 異なる種類の電池を混用しない。
- 新しい電池と古い電池を混用しない。
- 長期間使用しない場合は電池を抜き取る。
- 電池を新しく交換するときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない場所に置く。
- 電池から液漏れした場合、漏れた液には直接触らないで布や紙でよく拭き取ってください。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 乳幼児が電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。





### ● 落下・衝撃にご注意

本製品は精密機器です。落下や衝撃は避けて、取り扱いには十分ご注意ください。

### ● 分解禁止

お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となり、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。

### ● 雷注意

雷が鳴り出したらただちに測定を中止し、ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。



### ● 使用時シリコンラバーケースを取りはずさない。

取り付けていないと、落下や物にぶつけた場合、破損や故障などの原因となります。

### ● 長時間、車中に放置しない。

変形や故障の原因となります。

### ● 本体やストラップの巻き込み事故注意

本体やストラップのヒモが工作機械などに巻き込まれたり、建造物に引っかかったりしないよう注意してください。死亡やけが、事故の原因となります。

### ● ストラップを持って本体を振り回さない

けがや故障などの原因となります。

### ● 次の場所で使用したり、保管・放置しない。

本製品は防水・防滴・防じん仕様ではありません。水濡れやホコリは故障の原因となり、電池がショートした場合、過電流が流れ、発熱、変形、火災や感電の原因となります。

- ・高温・多湿になる場所

- ・水や湯煙が直接かかる場所

- ・チリやホコリ、粉じんや砂じんがかかる場所



### ● お手入れのご注意

- ・本体の汚れは、市販のクリーナーやベンジン、アルコール、シンナーなどは使わず、柔らかい布で軽く拭き取ってください。樹脂が溶けたり、変形したり、変質、変色することがあります。
- ・シリコンラバーケースの汚れは、中性洗剤で軽く洗い流し、必ず自然乾燥させてから本体に取り付けてください。このとき布などで拭くと繊維が付着しますのでご注意ください。

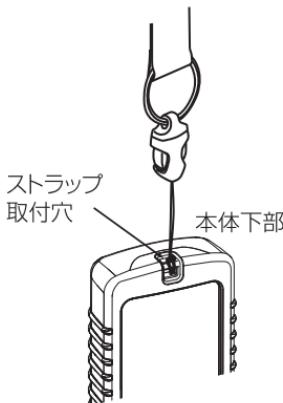


# ご使用の前に

- 本製品は簡易的にテレビ伝送設備を診断する機器です。別売のレベルチェックバー(LC60WS)と組み合わせることにより、同軸ケーブル及び、分配器等の伝送減衰量が容易に測定できます。
- 本製品及び、別売のレベルチェックバー(LC60WS)には各々公差があります。各機器の公差を考慮してご使用ください。
- 本製品の出力端子に接続する同軸ケーブルは、S4CFBやS5CFBケーブルを使用してください。
- 7Cケーブルを出力端子に直接接続しないでください。出力端子が変形し、接触不良の原因となります。接続する場合はコントラクトピン付き接栓を使用してください。
- 実際の放送信号は送出できません。
- BSL(BS左旋)、CSL(CS左旋)モードで診断する場合、伝送路が4K・8K放送(3224MHz)に対応している必要があります。
- 同梱の電池は動作確認用です。

# ご使用の前に ストラップの取付け

## ■ストラップを取り付ける



図のように、本体下部のストラップ取付穴に付属のストラップを取り付けてください。

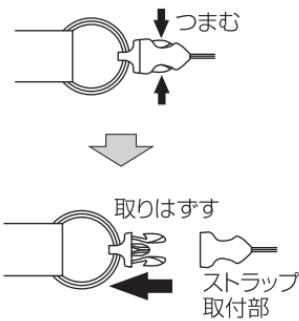
※本体上部にもストラップ取付穴があります。  
どちらかお好みの方に取り付けてください。

### <ご注意>

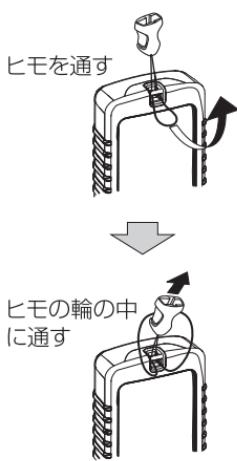
必ず付属のストラップを使用してください。  
ストラップ取付穴に取り付けたストラップに**10kg以上**  
の力を加えないでください。ストラップ取付穴が  
破損します。

## ■取付方法

- ①取付部の取りはずし  
ストッパーをつまみながら、取付部を取りはずしてください。



- ②本体への取付け



- ③ストラップの取付け

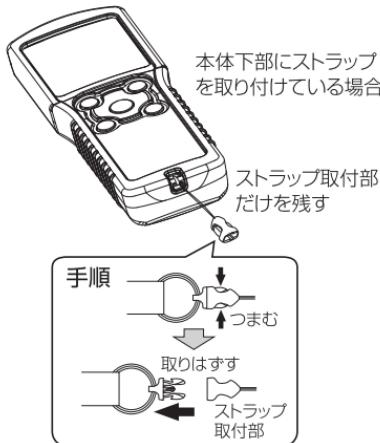


# ご使用の前に 電池の入れ方

ご使用の前に

## ■はじめに シリコンラバーケースをはずす

- ①シリコンラバーケースの一部をはずす(めくる)ことで電池を交換ができます。



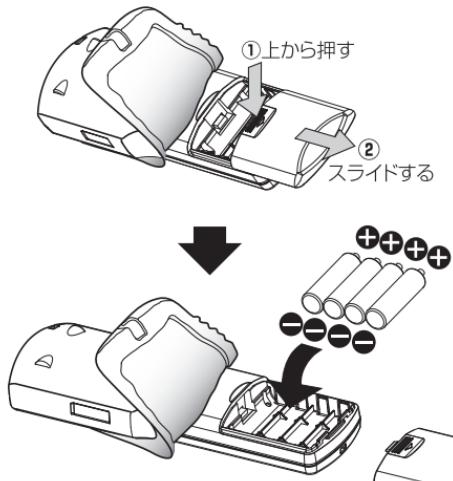
- ②ストラップ取付部をシリコンラバーケースの穴に通して電池フタが完全に見えるまでシリコンラバーケースを手ではずし(めくり)ます。



### <ご注意>

測定する場合は、必ず元どおりシリコンラバーケースを取り付けてください。

## ■電池を入れる



図の①⇒②のように裏面のフタをスライドして取りはずします。

4本とも新品のアルカリ単3乾電池(またはニッケル水素電池)を+、-の極性を間違わないように入れてください。(※極性を間違えると、液漏れや、発熱による故障の原因となります。)

付属の電池は動作確認用です。  
使用する場合は、新品と交換することをおすすめします。



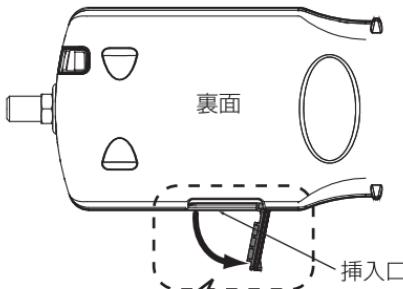
電池を入れたら、電池フタを取り付け、元どおりシリコンラバーケースを取り付けてください。

### <ご注意>

- 電池の正しい取扱いは、2ページの安全上のご注意「電池は正しく扱う」をご覧ください。
- マンガン乾電池は使用しないでください。正常に動作しません。

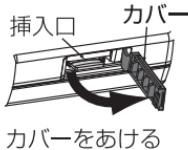
# ご使用の前に microSDカードの取り出し・挿入方法

## ■microSDカードの取り出し・挿入方法



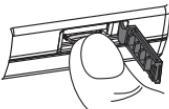
付属のmicroSDカードは、挿入口にセットされています。

図の矢印方向にカバーをあけてください。

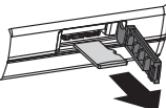


### <カードの取出し>

- ①カチッと音がするまで指で押し込んでください。



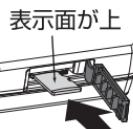
- ②カードを取り出してください。



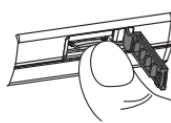
- ③元どおりカバーを取り付けてください。

### <カードの挿入>

- ①挿入方向に注意して、挿入口にカードを挿入してください。



- ②カチッと音がするまで指でしつかり押し込んでください。



- ③元どおりカバーを取り付けてください。

### <ご注意>

microSDカードの取出し／挿入を行うときに、カードが飛び出す場合がありますので、ご注意ください。

### <microSDカードに関するご注意>

- 本製品は、FAT16およびFAT32のフォーマットによるmicroSDカードに対応しています。(全てのmicroSDカードには対応していませんのでご注意ください。)
- RECALL/SAVE中は、microSDカード抜いたり、電源を切らないでください。データが壊れる可能性があります。
- 表面にキズ、ゴミなどが付着しているmicroSDカードは、本体に取り付けないでください。故障やデータ保存ができない原因となります。
- microSDカードを取り扱うときは、カードの金属端子部分に手や金属が触れないようにご注意ください。静電気やショートにより、カードまたは保存したデータが破壊されることがあります。
- 分解・改造したり、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

# 各部の名称と機能

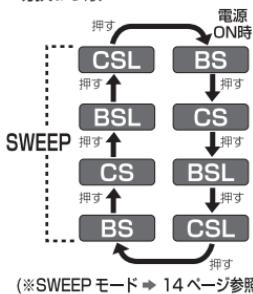
■本体 [各ボタンを押してから、決定ボタンを押すと選択したモードになります。]

## 各部の名称と機能

### モードボタン

出力モードを選択できます。

<切替わり順>



### チャンネル選択ボタン

出力させたいチャンネルを選択できます。

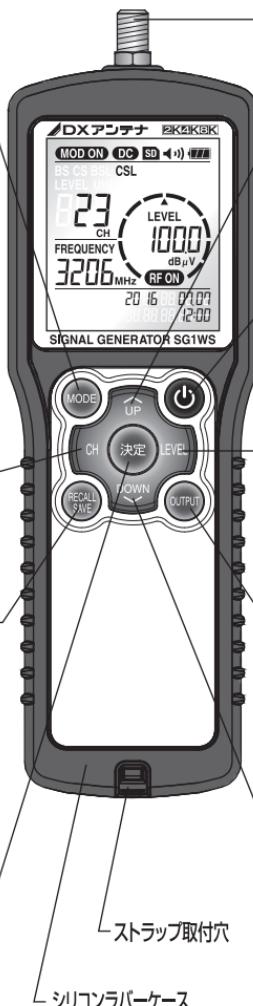
### RECALL/SAVEボタン

• 1回押し  
保存した設定を呼び出します。UP・DOWNでファイルナンバーを指定します。  
(→16ページ)

• 2回押し  
現在画面表示している設定を保存します。  
UP・DOWNでファイルナンバーを指定します。  
(→ 16ページ)

### 決定ボタン

選択した画面が点滅中に押すと、確定します。



### 出力端子(C15形)

別売の中継接栓(FFS)  
により交換が可能です。

### UPボタン

- ・チャンネルまたはレベルをアップします。
- ・長押しで、早送りできます。

### 電源ボタン

- ・長押し3秒で、電源ON
- ・短押しで、電源OFFします。

### レベルボタン

信号の出力レベルを1dBステップで調整できます。  
(50~100dB $\mu$ V)

### 出力ボタン

- ・1回押し  
MOD ON + RF ONを選択できます。
- ・2回押し  
RF ONを選択できます。

### DOWNボタン

- ・チャンネルまたはレベルをダウンします。
- ・長押しで、早送りできます。

## ■液晶表示部

(バックライトは電源ONの間は常時点灯しています。)

### 変調ON表示

FSK変調をかけた信号を出力します。

### 測定モード表示

信号を出力するモード(帯域)を表示します。

### チャンネル表示

信号を出力するチャンネルを表示します。

### 周波数表示

選択されているチャンネルの周波数の値を表示します。

\*数値はチャンネルに連動します。

### 呼出表示

保存した設定を呼び出す時、点灯します。(→ 16ページ)

### 保存(記録)表示

設定内容をmicroSDカードに保存する時に点灯します。

(→ 16ページ)

### DC表示

外部からの給電時、点灯します。

### SDカード表示

microSDカード挿入時に点灯します。

### 音量表示

音量が4段階で表示されます。  
※初期設定は音量3です。  
(→ 17ページ)

### 電池残量表示

電池残量に合わせてバーの数が変わります。



残量3 残量2 残量1\* 残量1 無し

\*残量1になつたら  
新品との交換をおすすめします。

### ▲マーク

71dB $\mu$ V以上でマークが点灯します。

### バーグラフ表示

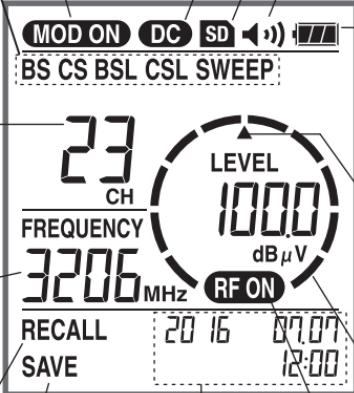
出力レベルに合わせてバーが増減します。

### RF ON表示

信号出力時に点灯します。

### 年月日・時刻表示

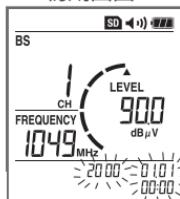
現在の年月日と時刻を表示します。



# 初期設定 電源のON/OFF,年月日・時刻の設定

## ■電源のON/OFF方法

初期画面



を押す

電源ON⇒長押し3秒

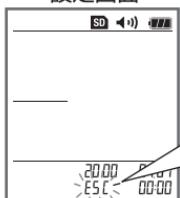
電源OFF⇒短押し1秒

初めて電源をONした時の画面は「年月・時刻」が2000年の1月1日で点滅表示をします。「年月・時刻」を設定してください。

## 初期設定

## ■年月日・時刻の設定

設定画面



ESC点滅時に  
決定ボタンを  
押すと、測定  
画面に戻ります

設定開始



を8秒以上押す

画面が年月日・時刻設定画面になります。

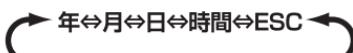


<点滅箇所を移動>



を押して  
年・月・日・時刻を選択

変更したい所を点滅表示させてください。



<点滅箇所の数字を変更>



を押して数字を変更



<点滅から点灯に変わり終了>

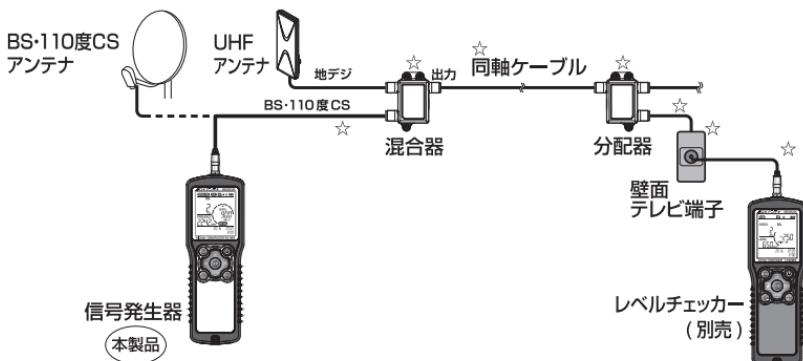


年・月・日・時刻が全て設定できたら  
で確定してください。

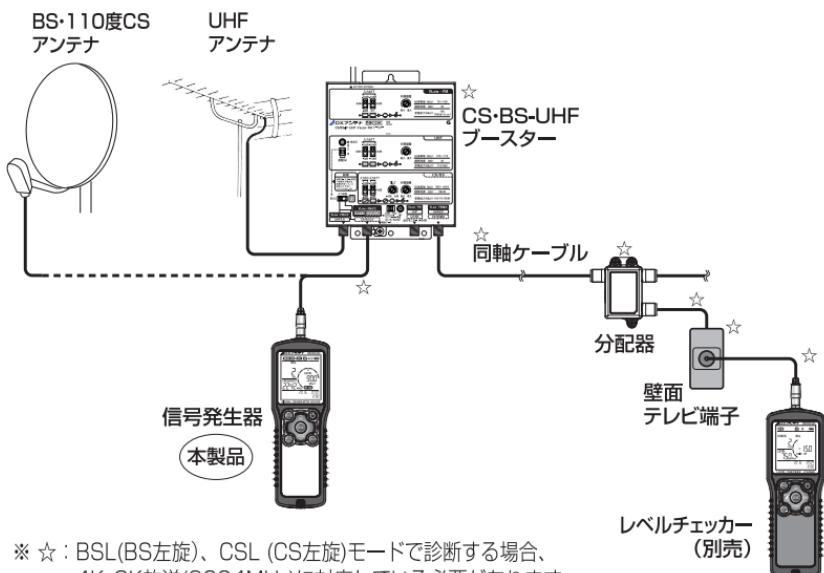
※ 設定後は、内蔵電池のはたらきにより、乾電池を取りはずしても時計機能は約1週間維持されます。

# 使用例

## ブースターを使用しない場合



## ブースターを使用する場合



※ ☆ : BSL(BS左旋)、CSL (CS左旋)モードで診断する場合、  
4K・8K放送(3224MHz)に対応している必要があります。

※ 別売のレベルチェッcker(LC60WS)と組み合わせて伝送路のシステム性能を  
測定することができます。

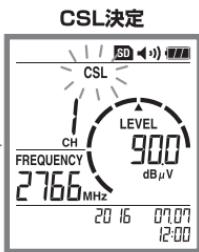
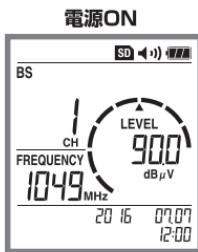
(注) 本製品の出力端子にブースター等からのコンバーター電源(DC 15V 約70mA)を給電すると  
自動的に外部電源動作に切り替わり、画面に“DC”が点灯します。

# 操作方法

## 指定チャンネルの出力（伝送レベルの測定）

指定のチャンネルの信号を指定の出力レベルで出力します。別売のレベルチェッカー(LC60WS)と組み合わせることにより、「受信レベル」と「伝送レベル」が測定できます。

### ①モードを選択する



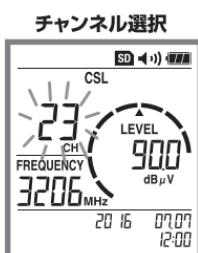
を3秒長押して電源ON  
(ビピッと鳴り画面が表示されます)

でBS、CS、BSL、CSLの  
いずれかを選択(点滅を確認)  
(初期画面はBS)

- BS(BS右旋)
- BSL(BS左旋)
- CS(CS右旋)
- CSL(CS左旋)

でモードを確定(点灯を確認)

### ②チャンネルを選択する



例: UPを押しch23を選択



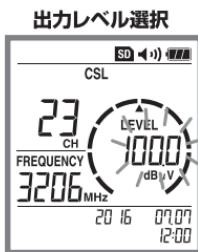
でチャンネルを選択



でチャンネルを設定

でチャンネルを確定

### ③出力レベルを設定する



で出力レベルを選択

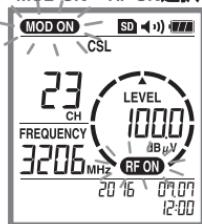


で出力レベルを設定  
診断する伝送路に応じて適切な出力  
レベルを設定します。

で出力を確定

#### ④出力を設定する

MOD ON + RF ON選択



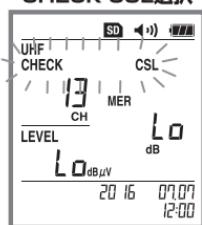
- でMOD ON + RF ONの設定を選択  
↓  
決定 で出力開始

※ RF ONのみが表示されている場合は、伝送レベルが測定できません。

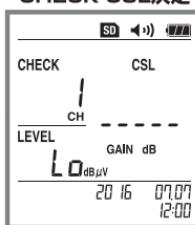
※ 出力中は、オートパワーオフは機能しません。

#### ⑤レベルチェッカー(別売:LC60WS)の準備

CHECK CSL選択



CHECK CSL決定



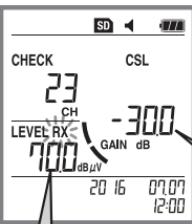
本製品(SG1WS)の設定に合わせてモードを設定します。

- で3秒長押しで電源ON  
(ピピッと鳴り画面が表示されます)  
↓

- MODE 本製品の設定に合わせてモード(CHECK BS, CHECK CS, CHECK BSL, CHECK CSLのいずれか)測定チャンネルを選択  
(点滅を確認)

- で決定

※ CHECK モードは伝送レベルを測定するモードです。



伝送レベルが表示されます。

受信レベルが表示されます。

「受信レベル」と「伝送レベル」が表示されます。  
(MOD ONの信号を受信した時“RX”が点滅します。)

「伝送レベル」とは  
レベルチェッカーの受信レベルと信号発生器の出力レベル  
設定の差分が表示され、伝送損失が一目で確認できます。

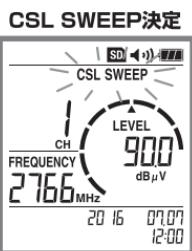
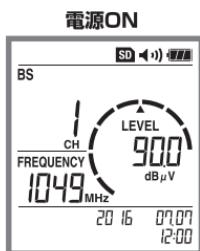
※ 伝送路内でブースターを使用している場合はプラス値を示す場合があります。

# 操作方法(つづき)

## 全チャンネルの伝送路を自動で出力する — チャンネルステップ機能 (SWEEP) —

選択したモードの全チャンネルを自動で順番に出力できます。別売のレベルチェッカー(LC60WS)と組み合わせることにより、「受信レベル」と「伝送レベル」が測定できます。

### ①モードを選択する



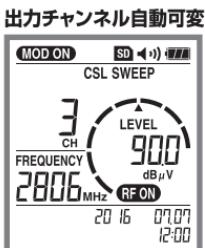
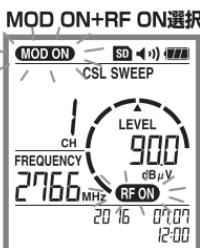
① を3秒長押しで電源ON  
(ピピッと鳴り画面が表示されます)

② MODE でBS SWEEP、CS SWEEP、  
BSL SWEEP、CSL SWEEP  
のいずれかを選択(点滅を確認)  
(初期画面はBS)

- BS(BS右旋)
- BSL(BS左旋)
- CS(CS右旋)
- CSL(CS左旋)

③ 決定 でモードを確定(点灯を確認)

### ②出力を設定する



① OUTPUT でMOD ON + RF ON  
を選択

② 決定 で出力開始  
出力チャンネルが1chずつ  
自動可変されます。  
ステップタイム: 約4秒

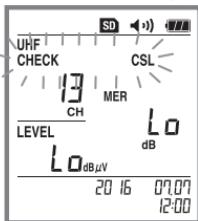
※ RF ONのみが表示されている場合は、伝送レベルが測定できません。

※ 出力中は、オートパワーオフは機能しません。

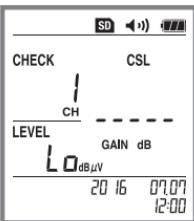
### ③レベルチェッカー(別売:LC60WS)の準備

本製品(SG1WS)の設定に合わせてモードを設定します。

#### CHECK CSL選択



#### CHECK CSL決定



電源ON

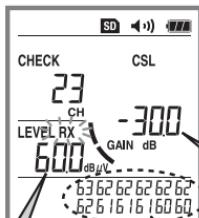
(ピピッと鳴り画面が表示されます)

MODE

でCHECK BS、CHECK CS、  
CHECK BSL、CHECK CSL  
のいずれかを選択(点滅を確認)

決定

※ CHECK モードは伝送レベルを測定するモードです。



本製品からの出力に追従して、自動測定します。  
「受信レベル」と「伝送レベル」が表示されます。  
約4秒で画面が切り換わります。

(MOD ON の信号を受信した時 “RX” が点滅します。)

「伝送レベル」とは  
レベルチェッカーの受信レベルと信号発生器の  
出力レベル設定の差分が表示され、伝送損失が  
一目で確認できます。

受信レベルが  
表示されます。

各チャンネルの受信レベルが  
画面下に一覧で表示されます。

※ 伝送路内でブースターを使用している場合はプラス値を示す場合があります。

※ 本製品とレベルチェッカーのチャンネルが一致するまで動きません。

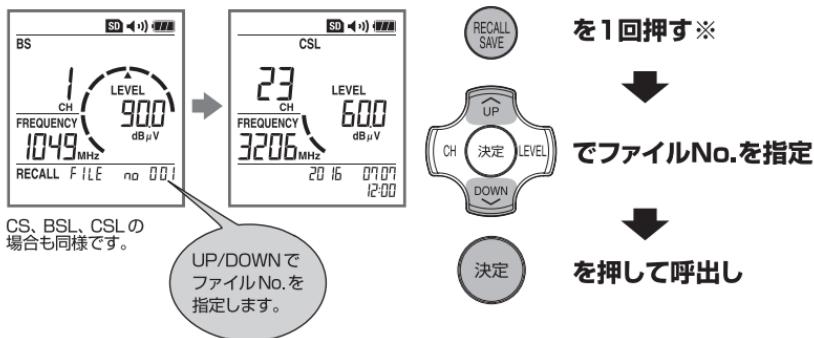
(一致した後は、本製品よりレベルチェッカーがわずかに先行してチャンネルが切り換わります。)

※ 本製品の出力を停止するまでチャンネルが切り換わります。

# 設定の呼出し/保存

## ■microSD カードに設定を呼出し / 保存する

画面に表示されているモード、チャンネル、レベルを microSD カードに保存（保存後に呼出し）することができます。



\*RECALL/SAVE ボタンを押す回数と動作について

ボタン操作	点灯表示	動作 説明
1回押す	RECALL	SAVEで保存したファイルNo.を呼び出すことができます。
2回押す	SAVE	指定したファイルNo.に設定内容を保存します。

### <ご注意>

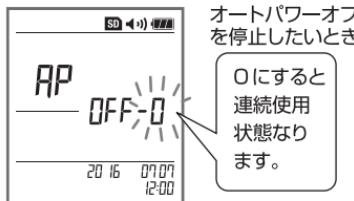
- 一度、保存(SAVE)を実行しないとRECALLは表示されません。
- microSDカード内のファイルを削除するとデータが初期化されます。
- パソコンでmicroSDカード内のデータは編集できません。
- SAVEの最大保存数は099までです。
- 保存または呼出し中にmicroSDカードを抜かないでください。

# 機能設定変更方法

## 《便利な使い方》

### ■オートパワーオフの設定変更

本製品は電池の消耗を抑えるために、5分間ボタン操作をしないと、電源が自動的にOFFになります。オートパワーオフの時間設定を以下の操作で変更することができます。



- ※ 出力中はオートパワーオフは機能しません。
- ※ microSDカードに設定が保存されます。
- 未挿入時は設定が5分に戻ります。



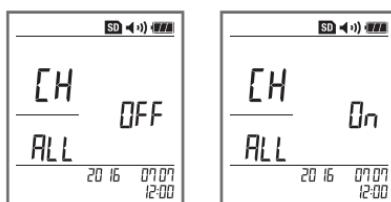
電源ON後  
を5秒以上長押し  
(左の設定画面になります)



でオートパワーオフの作動時間を変更します  
(1分ステップで0～5分まで設定できます)

### ■オールチャンネルモード

MODEボタンを3秒長押しで、放送波割当て未設定のCS 26チャンネルとCSL 25チャンネルが選択可能になります。



を3秒以上長押しで選択



でON/OFF選択

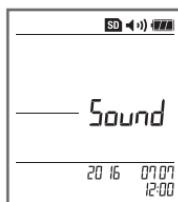


で確定

- ※ 電源がOFFになるとリセットされます。(常時ONにはできません。)

### ■サウンドモード

LEVELボタンを3秒長押しで、レベル調整範囲が上限、下限になった時のお知らせ音量調整が可能になります。



- ※ 起動音やエラー音は音量3で固定です。

- ※ microSDカードに設定が保存されます。未挿入時は音量3に戻ります。



電源ON後  
を3秒以上長押し



で音量を変更します



で確定

# 故障かなと思ったら

## ■エラー表示と対処方法

本製品は、異常時に下記のようなエラーメッセージを表示します。

下記表示が出た場合は、すぐに電源をOFFにして問題箇所を取り除いてください。

表示	エラー内容	対処方法
E r r 0	ボタン操作エラー	電源をOFFし、再度電源をONしてください。
E r r 1	電池の消耗	電池を新品に交換してください。
E r r 2 E r r 3 E r r 4	制御エラー	電源をOFFし、再度電源をONしてください。
E r r 5	microSDカードの読み込みエラー	カードを正しく挿入されているか確認してください。

故障  
かな  
と思つたら

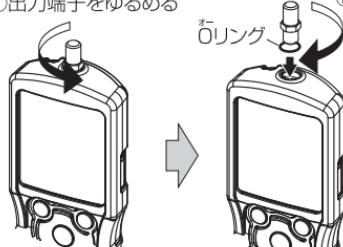
## <出力端子の交換方法>

出荷時には本体に取り付けています。通常は交換の必要はありません。

出力端子が接触不良や、破損した場合、出力端子を別売の中継用接栓(型番:FFS)と交換ができます。

①出力端子をゆるめる

右図の手順で、出力端子をはずして、交換用の中継接栓と交換してください。  
(スパナを使用してください)



②規定の締付トルクで取り付ける

接栓締付トルク  
0.4~0.6N·m

### <ご注意>

0.6Nを超えるトルクで締め付けると、Oリングが変形してはずれ、水などが浸入して故障の原因となります。

## ■故障と判断する前に

故障と判断する前に、下記の主な症状をご確認ください。

症 状	原 因	処 置
電源ボタンを押しても画面に表示が出ない。(電源が入らない)	電池が消耗していたり、向きが間違っていませんか。	方向を確認して4本とも新品に交換してください。ニッケル水素電池の場合は充電してください。
すぐに電池が消耗する。(電池残量表示がすぐ1になる)	寿命が近づいた電池を混ぜて使用していませんか。	本体の電源を、こまめに切ってください。または4本とも新品の電池に交換してください。
液晶画面が消えた。または、いつまでたっても液晶画面が消えない。	オートパワーオフ機能(5分)がはたらいている、またはこの機能の設定を変更していませんか。	電源を入れなおしてください。または設定を変更してください。 ⇒17ページ
レベルが安定しない。測定ケーブルに触れるときが不安定になる。	出力端子の劣化による接触不良がおこっていますか。	交換用の中継用接栓(FFS)に交換すると改善する可能性があります。 ⇒18ページ
チャンネルステップ機能でチャンネルが切り換わらない。	MOD ON+RF ONまたは, RF ONの表示が消えていませんか。またSWEEPモード以外に設定していませんか。	OUTPUTボタンを押してMOD ON+RF ONまたは, RF ONに設定してください。 出力モードをSWEEPモードに設定してください。
音が鳴らない。	音量が消音になっていますか。	サウンドモードで音量を変更してください。 ⇒17ページ
別売のレベルチェッカー(LC60WS)で伝送レベルが表示されない。	MOD ONの表示が消えていますか。	OUTPUTボタンを押してMOD ON+RF ONに設定してください。 ⇒13, 14ページ

ご不明な点がございましたら当社カスタマーセンターにご相談ください。

# 仕様

## ■規格表

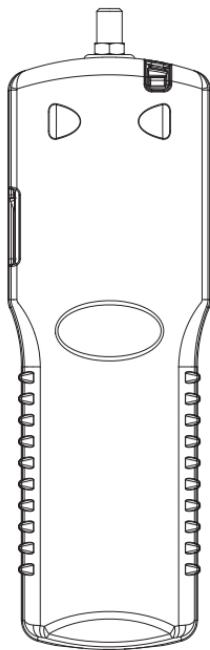
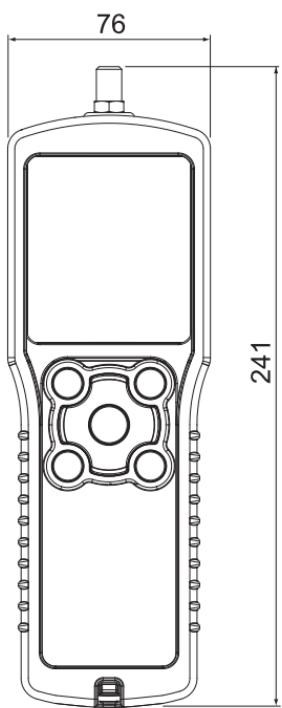
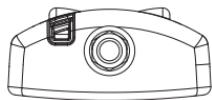
品名		信号発生器			
型番		SG1WS			
出力モード	右旋		左旋		
	BSデジタル	110度CSデジタル	BSデジタル	110度CSデジタル	
	BS	CS	BSL	CSL	
出力チャンネル(ch.)	1~23(奇数チャンネル)	2~26(偶数チャンネル)	2~24(偶数チャンネル)	1~25(奇数チャンネル)	
出力周波数(MHz)	任意ch.の中心周波数				
出力レベル調整範囲(dBμV)	50~100	50~100	50~100	50~100	
レベル確度(dB)	±2.5	±2.5	±2.5	±2.5	
SWEEP機能	○	○	○	○	
出力信号方式	CW/FSK(切替)				
受給電圧範囲(V)	DC 10~17(DC15V 約70mA)				
出力端子(Ω)	75(F形)				
使用温度範囲(℃)	-10~+40				
寸法(高さ×幅×奥行)(mm)	241×76×35				
質量(g)	250(本体のみ)・420(シリコンラバーケース、電池4本含む)				
付属品	microSD*1カード×1(出荷時本体挿入済)、ストラップ×1、アルカリ単3乾電池×4(動作確認用)、取扱説明書(保証書付)×1、シリコンラバーケース×1(出荷時本体取付済)				

※1) microロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

- 規格は改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

電池寿命の目安(保証値ではありません)			アルカリ単3乾電池LR6使用時	
出力モード	BS	CS	BSL	CSL
連続出力			12時間以上	

## ■外観図



仕  
様

単位：mm

メモ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

# 保証書

## ●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く) したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。  
また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
  - 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
  - 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
  - 本保証書を提示・添付されていない場合。

⑦本保証書をお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。  
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 (This Warranty is valid only in Japan.)  
6. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。  
7. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型番		SG1WS		ふりがな	
ご販売店	ご住所・ご店名		お名前	お電話( )	
	電話( )			ご住所	
お買上年月日		保証期間	お買上日から		※本書は再発行いたしませんので、 紛失しないよう大切に保管ください。
年	月		日	1年間	

カスタマーセンター  0120-941-542  
お昼時間も土・日・祝日もご利用ください！

携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用になれない場合  
03-4530-8079

【受付時間】 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く  
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>  
本社/〒655-20807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 (1404)